

創業110年を迎えた進々堂で、
いしいしんじさん書き下ろし短編小説を無料配布いたします。

2023年に創業110年を迎えたベーカリー「進々堂」(本社工場:京都市伏見区、代表取締役社長:続木創)は、いしいしんじさんによる進々堂への書き下ろし短編小説『クロワさん』を発刊し、進々堂全店で無料配布を開始いたしました。



◆ 進々堂 創業110周年記念
いしいしんじ×進々堂 による書き下ろし短編小説 第4弾『クロワさん』



私ども進々堂は2023年に創業110周年を迎えました。この感謝を込めて進々堂の大ファンとおっしゃって下さる京都在住の小説家いしいしんじさんによる進々堂への書き下ろし短編小説第4弾となる『クロワさん』を発刊することになりました。

2023年12月23日(土)より進々堂全店で無料配布しております。年末年始の忙しい時節ですが、ご来店のうち、この小説をお持ち帰りいただき、いしいしんじさんの最新作をお楽しみください。

<詳細>

配布期間:2023年12月23日(土)～ なくなり次第終了

配布場所:進々堂11店舗、ルボンヴィーヴル

ページ数:59ページ

寸法:10.4 × 14.2 × 0.3 (cm)

◆ 『クロワさん』発刊にあたって ご挨拶

いしいしんじさんの紡ぐパン愛あふれる物語をお客さまにプレゼントしたい。そんなことを思い立ったのは、私ども進々堂が創業100周年を迎えた2013年の秋でした。その年の第1作『毎日のパン』からはじまった短編小説のプレゼントは、第2作『パンとサーカス』(2015年)、第3作『ブレッドはパン探偵』(2018年)へと続き、それぞれとても個性的な登場人物たちが繰り広げるパンのお話は、読んでくださったお客さまの心を温め、私どもがパンやお料理のご提供を通して育ててきたお客さまとの絆を、ちょっとちがった形でより深めてくれたのではないかと考えています。

辛かったコロナ過が過ぎ去り、再びたくさんのお客さまをお迎えできる喜びに満ちあふれながら、私ども進々堂は今年創業110周年を迎えさせていただきました。この記念すべき年に、休止していた短編小説のプレゼントを再開したい。そんな私どもの願いに応え、いしいしんじさんが書いてくださったのがこの『クロワさん』です。香り高いクロワッサンを噛みしめながら、また京都の夜空に浮かぶ月をながめながら、できたてホヤホヤの最新作を味わっていただけたなら幸いです。

◆著者紹介

いしいしんじ

1966年大阪市生まれ。京都大学文学部卒。1994年『アムステルダムの犬』でデビュー。2000年、初の長編小説『ぶらんこ乗り』を発表。03年『麦ふみクーツェ』で第18回坪田譲治文学賞、12年『ある一日』で第29回織田作之助賞、16年『悪声』で第4回河合隼雄物語賞を受賞。著書に『トリツカレ男』『プラネタリウムのふたご』『ポーの話』『みずうみ』『四とそれ以上の国』『よはひ』『海と山のピアノ』、エッセイに『京都ごはん日記』『且坐喫茶』『毎日が一日だ』など。お酒好き。魚好き。蓄音機好き。現在、京都在住。

◆進々堂について

大正2年(1913年)の創業以来、進々堂は「お客様の命の糧となる、まじりけのないパンを造りたい、パンのある心豊かな生活をお客様と分かちあいたい」という信念のもとパンを焼き続け、京都の食卓を彩ってきました。現在では京都市内に12店舗。焼きたてのパンや作りたてのサンドウィッチを豊富に取り揃えております。カフェ、レストランを併設し、フランスの地方料理や伝統料理をベースとしたメニューとともに、焼きたてのパンをお楽しみいただいております。

◆創業者 続木齊は日本人最初のパン留学生

進々堂創業者の続木齊は、1924年に日本人最初のパン留学生としてフランスへ渡りました。2024年はそれから100年を迎える年となります。それを記念し、創業者の想いを込めたイベントを続々と発表いたしますのでご期待ください。



<会社概要>

会社名	株式会社進々堂
所在地	京都市伏見区深草西川原町 21 番地 1
電話番号	075-525-1913
代表者	続木 創
事業内容	パン、洋菓子の製造及び販売 サンドウィッチ、惣菜等の調理食品の製造及び販売 喫茶及び飲食業
創業	1913年4月
会社設立	1943年3月
URL	https://www.shinshindo.jp/

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社進々堂 広報室
TEL:075-525-1913 FAX:075-525-1928 MAIL:info@shinshindo.jp